

横手駅東口第二地区
第一種市街地再開発事業

B-1棟X6-Y4柱廻り是正工事

横手駅東口第二地区市街地再開発組合



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知の通り令和5年7月6日に発覚したいわゆる『B-1棟X6Y4通り柱の施工ミス』について、横手駅東口第二地区市街地再開発組合の構成員にて協議を重ねた結果、同年9月6日開催の再開発組合第48回理事会にて、『柱を鉛直にし、設計図書の通りに是正する』という方針が決定されました。

その後、特定業務代行者（横手・半田・伊藤特定建設工事共同企業体）により、是正工事の計画書の作成が行われ、第三者機関の確認を経て、令和6年4月1日より是正工事に着手しました。

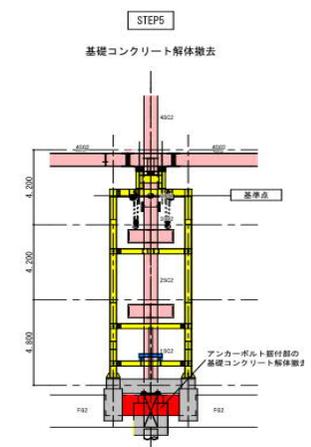
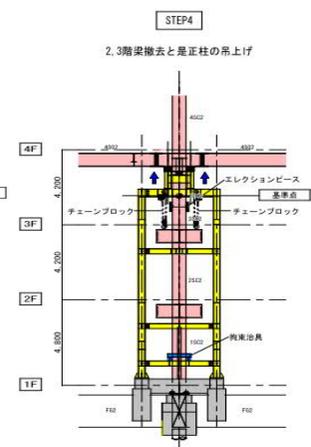
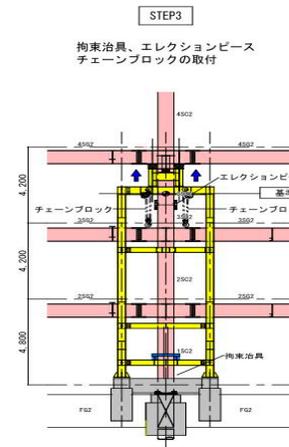
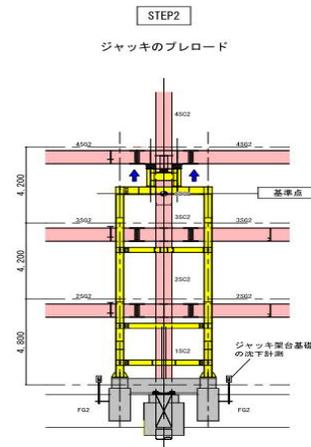
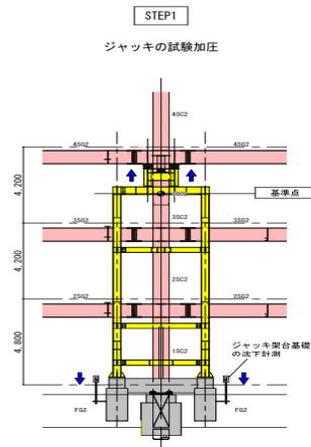
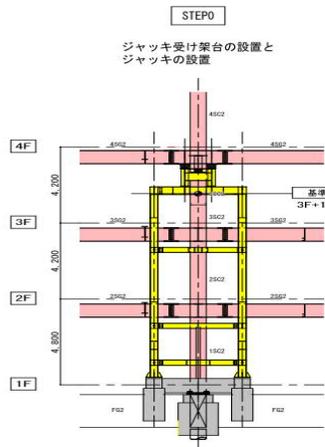
当該箇所であるX6Y4柱（以下、「是正柱」という）の3階の接合部より上階の建物をジャッキにより保持した状態で、是正柱を取り外し鉛直に建て入れ直すという難工事でしたが、詳細に練られた是正計画書と0.1m単位での変位管理により、令和6年5月29日に是正柱の鉛直精度を確認し、無事是正工事が完了しました。

是正工事の概要は、以下の通りです。

まず、4階より上階を支える為、架台を組立て、ジャッキを設置し、是正柱にかかる上階の荷重を取り除きました。次に、溶接により接続されている3階床レベル+1mの位置で柱を切り離し、切り離された柱の柱脚の位置を移動し柱を鉛直に建て入れ直しました。その後、是正柱を再度接合し、取り外した梁、基礎を再構築し、上階の荷重をジャッキから是正柱に移行させ、是正工事が完了しました。

工事の詳細については別紙を参照願います。

以上、ご心配をおかけした『B-1棟X6Y4通り柱の施工ミス』に関しては、設計図書通りの建物となり、横手市民の皆様のみならず多くの関係者に安心・安全に利用して頂けることになったことをご報告させていただきます。



R6.3.29

STEP 0

ジャッキを受ける架台とジャッキを設置する。

R6.4.1

STEP 1

ジャッキを試験的に加圧して、上階の建物の重さを受ける。

R6.4.2

STEP 2

R6.4.10

STEP 3

R6.4.10

STEP 4

是正柱に接続されている2、3階の梁を撤去し、柱を吊り下げる。

R6.4.22

STEP 5

是正柱の基礎部分のコンクリートを解体撤去する。

是正計画書の作成



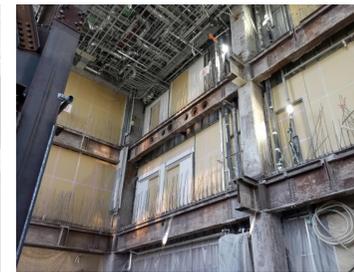
STEP0



STEP1



STEP1

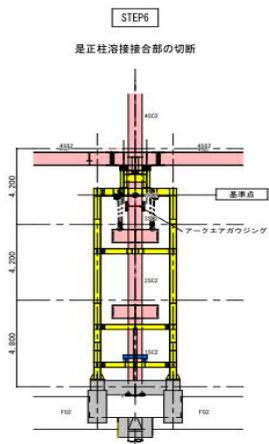


STEP4



STEP5

B-1棟X6-Y4柱廻り是正工事



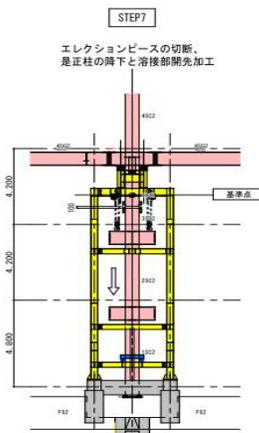
R6.4.12

STEP 6

是正柱と
上階の柱との接合
部分を切断する。

R6.4.15

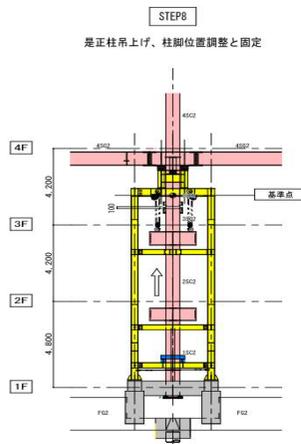
STEP 7



R6.4.15

STEP 8

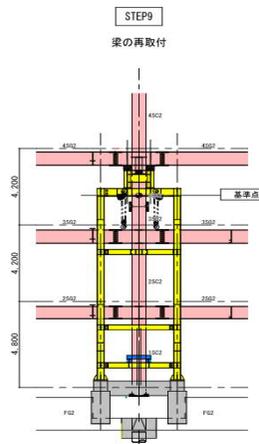
是正柱を吊り下げて
柱の柱脚の位置を
鉛直となる位置に
調整し、固定する。



R6.4.18

STEP 9

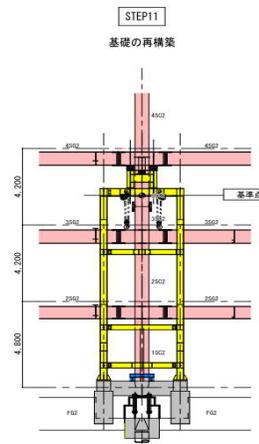
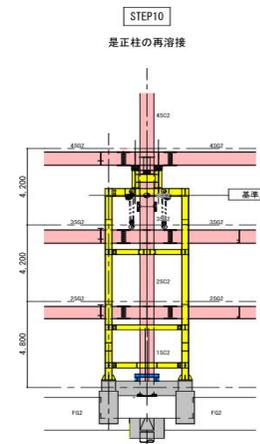
新しく製作した梁を
是正柱に取り付け、
仮固定をする。



R6.4.24

STEP 10

是正柱と上階の柱を
溶接で再度接合する。



R6.5.1

STEP 11



STEP6



STEP8



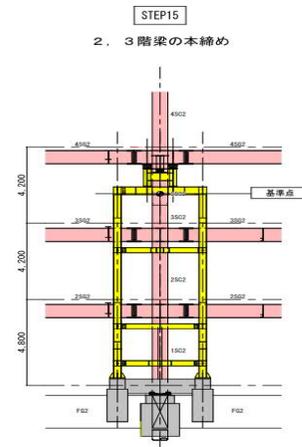
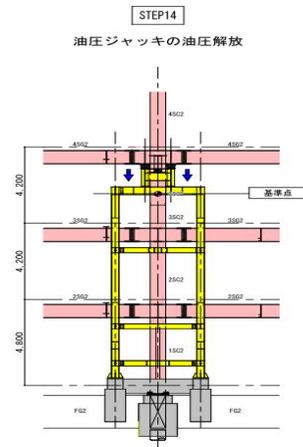
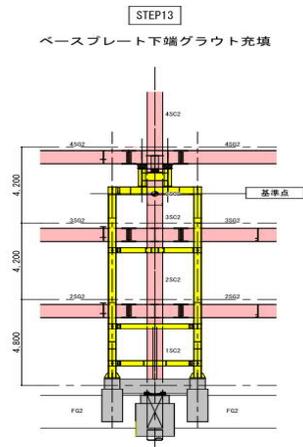
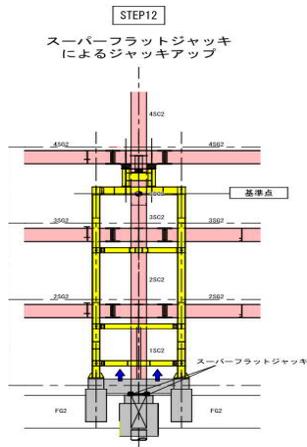
STEP8



STEP9



STEP10



R6.5.28

STEP 1 4

上階の荷重を支えていたジャッキの油圧を開放し、
是正柱で建物を支える状態に戻る。

R6.5.29

STEP 1 5

仮に固定していた梁の本締めを行い、
是正柱の鉛直精度を確認し、
建物が設計図書通りとなった。

R6.5.22

STEP 1 2

R6.5.27

STEP 1 3

架台の撤去・内外装復旧工事



STEP14



STEP14



STEP15



STEP15



是正完了

B-1棟X6-Y4柱廻り是正工事